

■「若者の圏外流出」分科会 委員からの意見と骨子素案への記載 対応表

参考資料2

| No | 課題カテゴリー | 小項目 | ご意見(要旨) | 骨子素案への記載内容 ※具体的な取組内容は計画本文に記載予定 | | |
|----|------------------------|--------------|--|---|---|----------|
| | | | | 内容 | 記載箇所 | 対比表記載ページ |
| 1 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 価値観形成期 | 18歳から24歳の価値観形成期の若者の行動を変えるような取組が重要 | 「若者が地域を知る機会・学ぶ機会を増やし、社会の一員としての力を育む取組の充実」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生～安全・安心、環境と調和した地域づくり～ (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |
| 2 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 価値観形成期 | 価値観形成期にいかに関心を持って育てられるかという事に注力することが重要 | | | |
| 3 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 寛容性の拡大 | 多様な価値観を認める寛容性をどうやって意識付けするかが課題 | 「柔軟な働き方や多様な価値観に対応するため、企業における業種、職種の多様化推進とダイバーシティへの寛容な社会の形成」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生～安全・安心、環境と調和した地域づくり～ (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |
| 4 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 寛容性の拡大 | タイムパフォーマンスを意識しつつ、若者や女性の感覚を理解することが重要 | | | |
| 5 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 寛容性の拡大 | 北陸圏でも都会のような自由な生活や考え方を認める空気感を醸成し、北陸に戻りたくなるような雰囲気形成することが重要 | | | |
| 6 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 寛容性の拡大 | 寛容性と幸福度を高めるためには、シビックプライドや地域のセーフティネットを育てることが重要 | | | |
| 7 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 寛容性の拡大 | 若者の意見の聞いて娯楽の多様性や価値観の寛容さがカギであると感じた。 | | | |
| 8 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 中高年・経営者の理解拡大 | 社会の組織全体で多様な人を迎え入れる意識を変えることが必要 | | | |
| 9 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 中高年・経営者の理解拡大 | 男女がしっかり家事の分担をし、それを受け入れるシニア特に中高年の価値観を変えていかなければならない | | | |
| 10 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 中高年・経営者の理解拡大 | 経営者などがダイバーシティ&インクルージョンに対して正しい理解が必要 | | | |
| 11 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 中高年・経営者の理解拡大 | マジョリティである世代の中高年の意識を変える機会が必要。 | | | |
| 12 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 中高年・経営者の理解拡大 | デジタル社会で多様な働き方を受け入れることをマジョリティ世代の意識を変えることが必要 | | | |
| 13 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 中高年・経営者の理解拡大 | 意思決定を行う上の世代の方が、リスクリングやリカレントで変化していくことが必要 | | | |
| 14 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 女性活躍 | 女性がUターンして働けるような環境づくりを施策として入れ込むことが必要 | 「女性の就業・起業や社会参加等就業環境の更なる充実」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生～安全・安心、環境と調和した地域づくり～ (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |
| 15 | 多様な価値観を受容する地域づくり | 女性活躍 | 女性活躍を推進するためには、中高年の経営者がマイノリティな環境を経験して意識を変えてもらうことが必要 | | | |
| 16 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | Uターン | 流出抑制のみだけではなく流入拡大をふまえて人口減少を止めるか考えることが必要 | 「若者が地域を知る機会・学ぶ機会を増やし、社会の一員としての力を育む取組の充実」を記載 「子育て世代及び若者のUターン支援、サテライトオフィスの開設支援など」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生～安全・安心、環境と調和した地域づくり～ (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |
| 17 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | Uターン | 県外で学んで北陸に戻りたくなるような仕組みづくりが重要 | | | |
| 18 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | Uターン | 進学段階で圏外に出た学生が北陸に戻ってきてもらう仕掛けが必要 | | | |
| 19 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | Uターン | 価値観形成期のみならず、北陸の住みやすさを感じ始める子育て世代へのアプローチも重要 | | | |
| 20 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | Uターン | 移住者が求める情報がは常に変化するのだから、細やかにカテゴリー毎に情報発信を続けることが重要。 | | | |
| 21 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | Uターン | Uターン者には都市部で比較的交通の便の良いところで住んでもらえるように居住誘導していくも重要 | | | |
| 22 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 子育て環境の向上 | 保育環境の充実や保育に関わる方の就業環境の向上について施策として支援が重要 | 「女性の就業・起業や社会参加等就業環境の更なる充実」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生～安全・安心、環境と調和した地域づくり～ (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |

■「若者の圏外流出」分科会 委員からの意見と骨子素案への記載 対応表

参考資料2

| No | 課題カテゴリー | 小項目 | ご意見(要旨) | 骨子素案への記載内容 ※具体的な取組内容は計画本文に記載予定 | | |
|----|------------------------|------------|--|--|---|----------|
| | | | | 内容 | 記載箇所 | 対比表記載ページ |
| 23 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 職業選択の拡大 | 大都市圏への移動負担を軽減することで、リモートなど柔軟な働き方が可能となり、北陸圏でも若者が能力を活かせる職業選択できる | 「多様な価値観の尊重と暮らし方、働き方へのニーズ、地方への関心の高まりと、テレワークの普及、転職なき移住、二地域居住等の新たな暮らし方、働き方の推進」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生～安全・安心、環境と調和した地域づくり～ (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |
| 24 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 職業選択の拡大 | 新産業の育成や圏外から北陸圏内への企業の進出を促進することが重要 | | | |
| 25 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 職業選択の拡大 | 北陸にベンチャー企業などがあまりないため、企業の幅があった方がよい | | | |
| 26 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 職業選択の拡大 | ベンチャー企業の設立や誘致などの支援が重要 | | | |
| 27 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 職業選択の拡大 | 北陸圏は中小企業が主で、しかも家族経営が多いが、若者がそのような企業の経営に参画できる機会が増えればよい | | | |
| 28 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 職業選択の拡大 | 若い人もしくは異業種の方でも、農業に参入できるように現行の制度・施策等を見直すことが重要 | | | |
| 29 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 職業選択の拡大 | 経営企画や国際展開などが属する本社機能を北陸圏に設置してもらうよう企業に働きかけることも必要 | | | |
| 30 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 学生へのアプローチ | 世界に通用する技術を持っている企業や、安心して長く働ける環境があり、可能性を開いてくれる企業が北陸圏にあることを学生に知ってもらうことが重要 | 「若者が地域を知る機会・学ぶ機会を増やし、社会の一員としての力を育む取組の充実」を記載 「優れた人材定着に向けた高等教育環境の充実及び、多様な就業環境の創出」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生～安全・安心、環境と調和した地域づくり～ (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |
| 31 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 学生へのアプローチ | 北陸にもニットップ企業が多く存在していることなどを、就職等のタイミングで若者に情報提供することが重要 | | | |
| 32 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | 学生へのアプローチ | 北陸圏にも数多くの優良企業があることを、若者に上手く伝えるよう工夫することが重要 | | | |
| 33 | 多様なニーズに応える生活環境・雇用環境の充実 | デジタル社会への対応 | 若者の活躍という観点からも、DXなど今後の技術変化を予測した働き方や企業のあり方など、北陸としてのビジネスモデルを議論していくことが必要 | 「デジタルを活用した魅力ある産業の育成」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 2 競争力ある産業の育成 (2)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 15 |
| 34 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 関係人口の拡大 | 定住人口の取り合いにならないように、関係人口の増加に注力することが必要 | 「若者が地域を知る機会・学ぶ機会を増やし、社会の一員としての力を育む取組の充実」を記載 「多様な価値観の尊重と暮らし方、働き方へのニーズ、地方への関心の高まりと、テレワークの普及、転職なき移住、二地域居住等の新たな暮らし方、働き方の推進」を記載 「環境に優しく、高齢者が健康で元気に暮らせ、また若者から高齢者まで社会で活躍できる地域の構築、同時に子育てしやすい多世代循環型地域構築」を記載 | 第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生 (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援 | 11 |
| 35 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 学生と地域の交流 | 学生の中に、地域と関わる活動の場を設けて、北陸で暮らすイメージを持ってもらう | | | |
| 36 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 学生と地域の交流 | 将来的な関係人口となってもらうため、県外から学生などと地元の方が関わるような体験が重要 | | | |
| 37 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 学生と地域の交流 | 高校生や大学生の時期に、学力だけを重視するのではなく、地域の将来ビジョンを考える取組も重要 | | | |
| 38 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 若者の活躍 | 地域に移住成功者がいる場合は地元若者とのつながりを積極的に行うことが重要 | | | |
| 39 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 若者の活躍 | 地域づくりに理解がある地元の方が、若者の活躍の場を保証してあげられる仕組みづくりが必要 | | | |
| 40 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 高齢者との関わり合い | 子供たちが地域の大人と一緒にディスカッションすることで価値観形成期で自分たちの地域に誇りに思い、主体性を育めることが可能 | | | |
| 41 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 高齢者との関わり合い | 高齢者とのワークショップはバックキャストにより地域の未来を確認してから話し合うことが重要 | | | |
| 42 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 高齢者との関わり合い | 住みやすく魅力ある地域づくりには、老後の心配がない余裕のある中高年層を形成することも重要 | | | |

■「若者の圏外流出」分科会 委員からの意見と骨子素案への記載 対応表

参考資料2

| No | 課題カテゴリー | 小項目 | ご意見(要旨) | 骨子素案への記載内容 ※具体的な取組内容は計画本文に記載予定 | | |
|----|-----------------|---------|---|--|--|--------------|
| | | | | 内容 | 記載箇所 | 対比表 記載ページ |
| 43 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 人材育成ができる人を育てるところに支援や助成があると良い | <p>「若者が地域を知る機会・学ぶ機会を増やし、社会の一員としての力を育む取組の充実」を記載</p> <p>「北陸圏での多様な暮らし方・働き方の提案、ダイバーシティへの対応」を記載</p> <p>「若者から高齢者みんなが住みやすく、2代、3代と安心して住み続けられる、地域コミュニティの維持・充実、定住化環境整備」を記載</p> | <p>第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生 (1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援</p> | 11 |
| 44 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 若者支援としてリスキリングを含めた教育の応援が必要 | | | |
| 45 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 地域の高齢者の意識を変化させるためにも、地域の高齢者と関わる若者など次世代の育成が重要 | | | |
| 46 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 地域づくりのため、メンター育成支援など中間支援組織の充実化またはネットワーク化が重要 | | | |
| 47 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 地域活動の成功事例を周知するため、広報の仕方などをしっかりと考えることが必要 | | | |
| 48 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 若者が年少時から地域を知り、社会の一員として地域の将来を作る際には参画できるような意識を育むことが重要 | | | |
| 49 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 地域の住民が互いに学び合えるような仕組みを作ることが大切 | | | |
| 50 | 個性と魅力を満載した地域づくり | 人材育成・教育 | 時間はかかるが、年少時から地元を知ってもらい取り組みが重要 | | | |
| 51 | 安全・安心な地域づくり | インフラ整備 | 安定した定住のため、基礎となるインフラ整備や老朽化対策に早急に対応することが重要 | 「デジタルを活用したインフラの長寿命化等対策などインフラマネジメントの構築」を記載 | <p>第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生 (2)デジタルを活用した「地域生活圏」の形成</p> | 12 |
| 52 | 安全・安心な地域づくり | インフラ整備 | 上下水やWi-Fi環境など都市OSなどをデジタルでマネジメントする考えを農村部に浸透させることが必要 | 「優れた住環境の整備」、「デジタルの活用によるリアルの充実、個性と魅力を満載した地域づくり」及び、「デジタルインフラ整備の推進」を記載 | <p>第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 1 個性ある北陸圏の創生 (2)デジタルを活用した「地域生活圏」の形成</p> | 12 |
| 53 | 安全・安心な地域づくり | インフラ整備 | 安定した人口と安定したエネルギー供給について長期的な計画策定が必要 | 「エネルギー受入・供給拠点やネットワーク機能の強化」を記載 | <p>第3章 新しい将来像実現に向けた目標・施策 3 日本海側の中枢圏域の形成</p> | 17 |